

地方創生関係交付金事業等の効果検証に係るご意見等について

No	事業名	項目	内容	委員	回答
1	いばらき宇宙ビジネス創造拠点事業	評価できる点	創出件数の伸び悩みに対し、宇宙ビジネスの専任コーディネーターの設置は評価できる。丁寧なコンサルで県内の宇宙ビジネスを盛り上げてほしい	高田委員	
		評価できる点	ものづくり企業が新規事業として小型衛星に参入した例などは、評価できる	仁衡委員	
		改善すべき点	最も重要視すべきKPIと考える「雇用創出数(人)」が伸び悩んでいることが問題であり、改善すべき点と考える。	仁衡委員	雇用創出数は、誘致・創出及び新規参入に伴い増加が期待できるものである一方、当該数値の大幅な伸びには、これらの企業による県内での宇宙事業の展開・拡大が肝要であることから、誘致・参入後の企業に対しても、専任コーディネーター等によるきめ細かなコンタクトや支援ニーズの調査を継続して行きます。
		その他ご意見・ご質問	宇宙ビジネスの専任コーディネーターの役割・機能及びその効果はどのようなものか？	吉田委員	これまでは、都内を拠点とする専門家が、ウェブサイトやメールからの問い合わせを経た上での相談対応・企業訪問を主に行っていましたが、コロナ禍においても、より頻繁かつ能動的に企業訪問を行うことを目的として、つくば市を拠点とする専任コーディネーターを新たに設置したものです。 これまで、20社を超える県内外企業への訪問・ヒアリングや、県外宇宙イベントでのネットワーキングを実施したほか、JAXAとの独自のネットワークを駆使した伴走支援により、県内企業とJAXAによる宇宙機器の共同研究に向けた動きも生まれつつあります。
		KPIに企業数を設定することには要注意。1人でも企業は作れるし、3人の企業も300人の企業も1社と数える単位であるため。雇用創出を目的とする場合雇用創出数(人)のみがKPIとなると思う。	仁衡委員	誘致・創出及び新規参入のKPIにおいては、国内宇宙市場が未だ拡大の途上にある（国内宇宙ベンチャー数：約80社）中で、新たなアイデアに基づく県内宇宙スタートアップの創出に加え、多様な宇宙関連企業の県内集積による本県宇宙産業の底上げも図っていることから、企業数を目標値に設定しているものです。	
2	Society5.0地域社会実装推進事業	評価できる点	境町の事例など明るいニュースとなった例がある点	仁衡委員	
		改善すべき点	境町など一部には前進が見られるが、多くの市町村ではあまり意義ある取り組みは観られなかったと思われる	仁衡委員	

No	事業名	項目	内容	委員	回答
2	Society5.0地域社会実装推進事業	その他ご意見・ご質問	社会実装件数、雇用増加数を設定できない（していない）理由は？今後の考え方は？社会実装件数、雇用増加数を設定できない（していない）理由は？今後の考え方は？	吉田委員	先端技術の社会実装及びその先にある雇用の増加は、事業実施の結果として直ちに達成される性質のものではなく、本事業の実施を契機として、概ね3年を目標に社会実装し、それに伴った雇用の増加を目指すものとしているため、R3年度においては、社会実装件数及び雇用増加数を設定していません。
			具体的にどのような社会実装を今後想定されていますか？介護分野などさまざまな領域で先端技術の社会実装の可能性は非常に大きく意義があると思います。	清山委員	各市町村等が抱える地域課題はそれぞれに異なりますが、公共交通や介護分野等、市町村間で共通する課題も散見されます。 県としては、AIやロボット等を活用して、公共交通の利便性向上、介護施設等における省力化等、高齢化や人手不足の解消に取り組む市町村を支援することにより、先端技術の導入モデルを構築し、広く県内に展開していきたいと考えております。
			市町村と技術を提供する企業とのマッチング件数自体が少ないと、社会実装件数KPIに反映しないため、マッチング件数自体を増やすことが課題と思われる	高田委員	本事業のKPI③については、シンポジウムや、ヒアリング等を通して、市町村と企業をマッチングし、その後「実証実験等の取組に至った件数」をKPIにおけるマッチング数としてカウントしております。実際には、お示した数よりも多くの機会を設けておりますが、先端技術の導入や、企業との打ち合わせに対して消極的な市町村もあり、具体的な取組に至らないケースもありますことから、R4年度は、地域課題の洗い出しやその深掘りに加え、これまでの事例をモデルとした相談等、さらに寄り添った支援を行い、先端技術の社会実装に向けた取組を進めております。
			県内市町村と他都道府県の事業者とのマッチングによる事業が多かったのではないかと。KPI1社会実装県数が0なのは難度から言って問題ないがKPI2雇用増加数が0は残念である。	仁衡委員	地域の課題を解決できるソリューションを有する企業として、県外企業とのマッチングが多くなったことはご指摘のとおりです。このような中で、5件のマッチングのうち、県内に本社や研究拠点を有する企業が実施したものは2件となりました。他方、事業に参画した県外企業においても、本事業の取組等を通し、県内に拠点を構える検討を進める等、地域雇用創出への効果も見られております。 また、KPIにつきましては、先端技術の社会実装及びその先にある雇用の増加は、事業実施の結果として直ちに達成される性質のものではなく、本事業の実施を契機として、概ね3年を目標に社会実装し、それに伴った雇用の増加を目指すものとしておりますため、R3年度においては、社会実装件数及び雇用増加数を設定していません。 一方で、資料への記載は間に合いませんでしたが、直近の事業実施後のフォロー調査により、つくばみらい市での実証を実施した企業において、本事業の実施後に、新たに8名の正社員の雇用があったとの報告を受けているところです。
3	ブランド力強化のための優良原種苗供給拠点整備事業	評価できる点	新たにレンコンの優良系統の種苗供給体制を確立は今後の安定的な供給につながり、県産品ブランド力強化につながっていく取組みで評価できる	高田委員	
			KPI3が達成されている点	仁衡委員	
		改善すべき点	KPIの採り方が、7事業まで「園芸品目産出額」「新規就農者数」の2つが共通となっており、もう少しきめ細かな目標・実績の設定はできないのか？（昨年と同様の指摘あり）	吉田委員	

No	事業名	項目	内容	委員	回答
3	ブランド力強化のための優良原種苗供給拠点整備事業	改善すべき点	産出額、新規就農者数が横ばいな点	仁衡委員	本県園芸品目産出額について、露地野菜等の産出額減少等により達成できておりませんが、本事業で整備した優良品種も活用しながら、需要に応じた品目への転換や差別化商品づくりの支援を強化してまいります。新規就農者の確保については、付加価値の高い県オリジナル品種の開発を加速化し、農家の収益性を向上させることで、新規就農者の増加につながるよう取り組んでまいります。
		その他ご意見・ご質問	KPIの園芸品目産出額の達成率が、▲1274%、▲262%と著しく低い数値となっているがこの試算の考え方は？	吉田委員	達成率の算出方法は、 $[(\text{実績値}-\text{基準年値}) / (\text{目標値}-\text{基準年値})] \times 100$ となります。 R2については目標値が基準値から81億円増に対し、実績値が基準値から211億円減となり、目標が未達成となっております。
			海外へのオリジナルブランド苗の流出について防止策にはどのようなものがありますか？ 実質的な就農者数は増加していますか？（農業人口の高齢化による廃業者を差し引いた数）	清山委員	・海外への流出防止策としまして、県育成品種は種苗法に基づく品種登録により知的財産とし、品種の利用には県の許諾が必要なほか、品目によっては県内での栽培に限定するなど対策しております。 ・2020農林業センサスより、R2の県内販売農家数は4万3920戸と前回調査（2015）から1万3319戸減少しております。
			KPIがやや成果（アウトカム）に寄りすぎていて、本事業の有効性等が把握しにくいというえに、KPI達成評価が過去すべてCである。KPIの設定自体の見直しをする議論があってもいいのではないか。 ・昨年も指摘したと思うが、KPI欄の達成率の計算方法について今一度ご説明願いたい。	高田委員	・KPI①②は茨城県まち・ひと・しごと総合戦略の「農林水産業の成長産業化」に関する重要業績指標から算出しておりますが、より詳細な指標の設定を検討いたします。なお、昨年のご指摘を受けまして、事業5～7につきましては、対象品目等の栽培面積や販売金額を参考KPIとして追記しました。 ・達成率の算出方法は、 $[(\text{実績値}-\text{基準年値}) / (\text{目標値}-\text{基準年値})] \times 100$ となります。
	ブランド力というまでの状態に現時点では至っていないと思われる。優良原種苗供給拠点整備の最終目的であるブランド力強化の達成への道筋を今後期待したい	仁衡委員	県オリジナル品種の育成にあたっては、生産性に優れ、ブランド力の向上や高単価に結びつく特性を持つものを中心に品種を育成します。さらに、県オリジナル品種等の高品質・安定生産技術を確立するとともに、輸出拡大に繋がる高品質生産技術や貯蔵技術、機能性等に関する研究開発を行ってまいります。		
4	AI解析による新たな農業技術研究拠点整備事業 「イチゴの栽培環境制御施設」	評価できる点	KPI単位面積あたり収量、参考KPI2つの達成具合が評価できる	仁衡委員	
		改善すべき点	産出額の減少が残念。改善を願いたい。	仁衡委員	本県園芸品目産出額について、露地野菜等の産出額減少等により達成できておりませんが、東京中央卸売市場における本県産いちご類の取引金額や「いばらキッス」の栽培面積は増加しており、引き続きイチゴの更なる生産性向上に向けた研究を行ってまいります。
		その他ご意見・ご質問	新規就農者数を増やすことは難しい課題であるため、目標値を達成できなくても仕方ないと思う。引き続きのご努力を願いたい。	仁衡委員	新規就農者の確保にむけ、引き続きデータの収集や解析を継続しつつ、それら解析結果を活用して、生産性向上に資するデータ駆動型のイチゴ栽培技術の実用化を進めてまいります。
5	AI解析による新たな農業生産技術及び貯蔵技術研究拠点整備事業 「サツマイモの栽培環境制御施設及び貯蔵環境制御施設」	評価できる点	参考KPI2の達成具合は評価できる	仁衡委員	
		改善すべき点	産出額の減少が残念。改善を願いたい。	仁衡委員	本県園芸品目産出額について露地野菜等の産出額減少等により、達成できておりませんが、本県サツマイモの栽培面積や東京中央卸売市場における本県産サツマイモの取扱金額は増加しております。引き続きサツマイモの安定生産や更なる高品質化に向けた研究を行ってまいります。
		その他ご意見・ご質問	非破壊技術を年に4つ開発するというKPIはそもそも無理があるのではないか？	仁衡委員	これまでにない新たな技術開発の件数として、内部障害いもの発生メカニズムの解明と非破壊判別技術をそれぞれ2件ずつ設定しており、目標達成できるよう引き続き取り組んでまいります。

No	事業名	項目	内容	委員	回答
6	さつまいも先進的生産技術研究拠点整備事業	評価できる点	参考KPI2の達成具合は評価できる	仁衡委員	
		改善すべき点	産出額の減少が残念。改善を願いたい。	仁衡委員	本県園芸品目産出額について、露地野菜等の産出額減少等によりKPIが達成できておりませんが、本県サツマイモの栽培面積や東京中央卸売市場における本県産サツマイモの取扱金額は増加しております。引き続きサツマイモの安定生産と更なる高品質化に向けた研究を行ってまいります。
		その他ご意見・ご質問	評価書ではR2=B、R3=Bとなっており、説明資料ではR2=C、R3=Cとなっているがどちらが正か？	仁衡委員	評価書の記入および算出式に誤りがあり、R2=C、R3=Cが正しい表記となります。
7	水産試験場内水面支場研究機能強化事業	評価できる点	KPI3が達成されている点	仁衡委員	
		改善すべき点	ワカサギ卵販売金額が天然資源の減少でKPIが目標に達成しなかったとのことであるば、そもそもそのような影響を受ける指標の設定に無理があったのではないか？	吉田委員	国ガイドラインでは、総合戦略に掲げられた目標に対し、因果関係が明確なKPIを設定することとされており、本事業は「水産業の成長産業化」に向けて有効なKPIを設定しております。 水産業は天然資源を利用し生産活動を行うので、自然環境変動の影響が避けられない側面がありますが、漁協による新技術を活用した卵の生産にあたっては、確保した親魚が畜養時に死亡するなど、生産性向上の余地が大きいことから、飼育技術の改善に向けた助言・指導等を継続し、本KPIの達成に向け取り組んでまいります。
		改善すべき点	ワカサギ卵販売KPIが大きく及ばなかった点は天然資源の問題から来るということであり、致し方ないと思われるが大規模な予算を掛けた事業でもあり、今後の改善を望みたい。	仁衡委員	漁協ではR3に水槽内自然産卵法用の水槽を増設し、卵の生産体制を強化することで資源回復時に備えております。また、漁協による新技術を活用した卵の生産にあたっては、確保した親魚が畜養時に死亡するなど、生産性向上の余地が大きいことから、効率的な生産が可能になるよう、県として飼育技術の改善に向けた助言・指導等を継続し、本KPIの達成に向け取り組んでまいります。
		その他ご意見・ご質問	わかさぎ卵の今後の確保、販売の見通しはいかがでしょうか？この実績の低さは今後も継続するのでしょうか？	清山委員	漁協ではR3に水槽内自然産卵法用の水槽を増設し、卵の生産体制を強化したところです。また、需要についても、各地から問合せがある状況です。 天然資源は環境の変化に伴い増減を繰り返すことから、資源回復時には実績が改善するものと考えております。 また、漁協による新技術を活用した卵の生産にあたっては、確保した親魚が畜養時に死亡するなど、生産性向上の余地が大きいことから、資源回復時に効率的な生産が可能になるよう、飼育技術の改善に向けた助言・指導等を継続し、本KPIの達成に向け取り組んでまいります。
		その他ご意見・ご質問	アユの増殖に取り組む漁業組合数のみKPI達成だが、事業評価としてBという評価の根拠が若干弱いように思える。	高田委員	成果指標のうち、コイ養殖に係るものは統計データ未公表につき現時点では達成率が不明のため、これを除いた2指標で評価することとし、記載要領に基づき達成率100%以上のKPIが半数以上ということでB評価としたところです。
その他ご意見・ご質問	評価書ではR2=Cとなっており、説明資料ではR2=Bとなっているがどちらが正か？	仁衡委員	R2評価はCが正です。説明資料について、R3年度の効果検証時点（1項目の実績が未公表）の評価のままとなっております。訂正とともにお詫び申し上げます。		
8	次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業	評価できる点	新ビジネス売上額が昨年評価（2年目）では目標値がゼロであったが今年評価（3年目）は適切に設定し、達成もしており、評価できる。	吉田委員	
		評価できる点	ビジネスプランの具体化と今後の伸びに期待します。	清山委員	
		評価できる点	ビジネスプラン件数が目標値を大きく超え、2倍に近い値となっている点	仁衡委員	

No	事業名	項目	内容	委員	回答
8	次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業	評価できる点	新ビジネス策定だけに終わらず、売り上げにつなげたことは、目に見える結果として評価できる	高田委員	
		改善すべき点	実証検証まで進められるような質の高いビジネスプランの割合を増やして欲しい	仁衡委員	実証検証を進め事業化するビジネスプランを増やすために、継続したフォロー活動により各企業に合った支援策を講じるとともに、今後も、本事業により得た知見を活用してビジネスプランの構築から事業化までの支援を行ってまいります。
		その他ご意見・ご質問	「新ビジネス実証件数」は、どのような形で実証試験の対象にし、事業化へ結びつけていくのか？	吉田委員	本事業で実施しているビジネスプラン構築研修で作成したプランについて、外部審査員（大手企業、金融、起業家等）による審査会を実施し、優秀プランに選定されたプランについて、翌年度に事業化に向けた支援を実施したものです。
			新ビジネスとは例えば何か？	高田委員	一例として、非常用発電機を取り扱う企業と、重機の走行に使われるゴムクローラーを取り扱う企業とが共同で開発した「被災地で活動可能な悪路走行性の高いゴムクローラ式電源車の開発」や、JAXA発ベンチャーがこうのとり利用された技術を応用した「高性能小型保冷コンテナの開発」等の新ビジネスが生まれています。
		年間予算が1億2000万円の事業で、創出する売上高目標が800万円というのは目標値が低いように感じる。新ビジネスはすぐに軌道に乗るものではないため、数年は問題ないと思うが、そろそろ年間予算に追いつくフェーズへと前進し、いずれは抜くことを目標としてほしい	仁衡委員	ご指摘いただいたとおり、費用対効果を確認しながら事業を実施することが重要であると考えています。事業化して売上につながったビジネスプランが少しずつ出てきておりますが、軌道に乗せるためのPRや新たな販路開拓を支援するとともに、まだ事業化に至っていないビジネスプランについては、フォロー活動を実施し売上につなげるための支援を行ってまいります。	
9	県北地域牽引産業・中核企業創出事業	評価できる点	支援による年間受注金額」が目標値を超えて実績を示しているが、目標設定の仕方はどのような考え方で行っているのか確認したい。	吉田委員	事業の最終年度までに、年間事業費を超える20,000千円の受注を獲得すること目標としております。
			効果がでており、これから伸びていく希望ももてる成果がでている	高田委員	
			具体的な受注金額増に繋がっているという点	仁衡委員	
		改善すべき点	仔細まで承知していないが、KPI1と3の達成率を見る限り、改善すべき点はないと思われる	仁衡委員	
		その他ご意見・ご質問	医療機器分野（介護）は高齢化が進行するなかでまだまだ可能性があると思いますが、販売力（オンラインサイトあるいはプラットフォームへの情報の提供の仕方など）に問題があるように思います。このあたりの認識はいかがでしょうか？宇宙機器分野においてつくば地区と関係性はどのようなものになるか。	清山委員	連携体構成企業の新たな受注獲得に向けてこれまでの取組として、事業コーディネーターによる受発注案件のあっ旋や、展示会への出展、企業PR用のカタログの作成などの販路開拓に取り組み、令和2年度17,727千円（目標10,000千円）、令和3年度49,041千円（目標15,000千円）の受注実績に繋がっております。今後も受注を獲得できるよう連携体の効果的なPRに努めてまいります。 また、宇宙機器分野では、連携体を構成する企業が中心となり、筑波大学と衛星フレーム試作に向けた検討など、衛星ビジネス参入に向けた取組を進めているところです。
			法人化数をKPIに設定するのは、予算拠出する県サイドから、参画する企業連携体への過度なプレッシャーになることを危惧する。法人化という形にこだわるより、内容のみを問う方がよいのではないかと。受注金額増という内容的成果をしっかりと上げていることだし。	仁衡委員	県としても、企業連携体の法人化の有無については企業の意向が前提であると認識しております。そのため、本年度においては連携体の構成企業に対して、アンケートを実施し、連携体としての活動を継続する体制（法人化も含む）や、連携体として取り組みたい内容など、企業の意向を伺いながら、連携体の自立化を支援してまいります。 また、受注金額については例年通り、KPIを達成できるように、事業コーディネーターによる受発注案件のあっ旋や、展示会への出展など、今後も受注を獲得できるよう販路開拓に努めてまいります。

No	事業名	項目	内容	委員	回答	
10	繊維・プラスチック産業支援拠点整備事業	評価できる点	出荷額が順調に伸びていること。	清山委員		
			技術者育成人数が目標値を大きく上回った点	仁衡委員		
		改善すべき点	KPI1=1年目の実績値10,471千円に対し、2年目以降伸び悩んでいる点	仁衡委員		KPI1の1年目（H29年度）については、大手企業等との契約単価が大きな研究が複数（4件で約4,000千円）あったことから、基準値となるH27年度の5,000千円や目標値5,300千円を大幅に上回る実績となっております。 その後は、3年目（R1）の終盤からは新型コロナウイルスによる経済活動の抑制等の影響もあり、目標未達となっておりますが、令和2年4月22日から経済活動が再開されたと判断した令和3年9月30日までの間、新型コロナウイルスの影響を受けた企業への支援として、依頼試験・設備使用の減免を実施しており、当該減免額も含めた場合の金額については、令和2年度、令和3年度ともに目標値を上回る額となっております。※減免額も含めた場合、R2：7,306千円（目標6,200千円）、R3：7,654千円（目標6,500千円）
		その他ご意見・ご質問	依頼試験等の収入が1年目、2年目は大きく目標値を超える実績をあげたが、3年目以降は低位にとどまっている。これは手数料などの減免によるものか？減免はしなければならないものか？	吉田委員		3年目（令和元年度）以降、実績が低位となった理由としては、特定の企業が継続的に多くの試験を実施する大口の案件が少なかったことや、新型コロナウイルスによる経済活動の抑制が影響しているものと考えられます。なお、令和2年4月22日から経済活動が再開されたと判断した令和3年9月30日までの間、新型コロナウイルスの影響を受けた企業への支援として、依頼試験・設備使用の減免を実施しており、当該減免額も含めた場合の金額については、令和2年度、令和3年度ともに目標値を上回る額となっております※減免額も含めた場合、R2：7,306千円（目標6,200千円）、R3：7,654千円（目標6,500千円）
			繊維・プラスチック産業は窯業とならび、本県にとって重要な特徴的産業である。引き続き力をいれていただきたい。	仁衡委員	本事業で施設の改修を行ったイノベーションセンターの繊維高分子研究所では、繊維・紬グループ及び高分子（プラスチック）グループを設置しており、引き続き企業支援を実施してまいります。	
11	茨城県工業技術センター生産性向上支援拠点機能強化事業	評価できる点	受託研究等の収入が目標値を大きく上回る実績を維持しており、評価できる。	吉田委員		
			着実に成果をあげている点	仁衡委員		
		改善すべき点				
		その他ご意見・ご質問	引き続き製品化・実用化に向けて頑張ってください。	清山委員	引き続き、整備した施設や機器を活用した企業支援を実施してまいります。	
			Co-workingスペースの利用者が固定的にならず、県内の幅広い事業者が利用するように環境整備・呼びかけ等をしていくことを期待したい。	仁衡委員	県産業技術イノベーションセンター（旧工業技術センター）のホームページなど各種媒体の活用や同センターへの来訪者に対し、Co-workingスペースや同スペースで開催される各種イベントの周知を図るとともに、より使いやすい空間となるよう必要な環境整備を行い、多くの事業者の方に利用されるようPRをしてまいります。	
12	つくば創業プラザ分室整備事業	評価できる点	期待しています。	清山委員		
			実際の状況をうかがい知ることができないため、記せることがない	仁衡委員		
		改善すべき点	登記は創業プラザにて行っているのだろうか。単に「入居」で見ず、「入居及び登記」で見た方がよいと思われる。イコールなのかもしれないが、資料からは読み取れなかったため記した。	仁衡委員		ご指摘いただいた通り、全ての入居企業において、創業プラザ分室の住所で登記をしております。

No	事業名	項目	内容	委員	回答
12	つくば創業プラザ分室整備事業	その他ご意見・ご質問	雇用者は常勤正規雇用でしょうか？	清山委員	KPIには、正規・非正規含む常勤職員数に加え、常勤役員数を含めて設定しております。ご指摘を踏まえ、常勤職員数の雇用形態も正確に把握するよう努めてまいります。
			雇用者人数の増加というKPIはベンチャー企業においては評価指数たり得るだろうか？規模が判らないため。増加率としてはどうだろうか。前年度までの雇用者数を100%として何パーセント増えたかを見る。	仁衡委員	第2期「茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、雇用創出数を数値目標としているため、本KPIでも雇用者の増を設定しております。ご指摘いただいた、雇用者の増加率については、基準値（R1.12）と比較し、100%の増となっております。
13	茨城県産業技術イノベーションセンター基盤技術試験棟整備事業	評価できる点	新素材の研究施設建設や研究は費用がかかる割にコスト回収が難しいものもあるため、県で主導で行うのにふさわしい事業と思われる	高田委員	
			まだ端緒に就いた段階であり、現時点で評価は難しい	仁衡委員	
		改善すべき点			
		その他ご意見・ご質問	製造コストを半減した製品の市場規模はどのくらいでしょうか？	清山委員	市場調査レポートの販売を行う(株)グローバルインフォメーションの「炭化ケイ素（SiC）繊維：世界市場の展望（2021年～2028年）」によると、世界の炭化ケイ素繊維の市場規模は、2021年の4億7,750万米ドルから、2028年までに22億7,690万米ドルに達し、予測期間中に25.0%の年平均成長率で成長すると予測されています。
			今後の製品化、実用化に期待しているが、同時にサプライチェーンや販路など、具体的に世に出す形になるまでの支援も必要と思われる。県の横の連携を期待したい	高田委員	県産業技術イノベーションセンターでは、取組の基本方針の一つとしてビジネス創出を掲げており、従来の技術面の支援に加え、県の関係部署や産業支援機関と連携した取組を行っているところであり、今後も適時に必要な支援を継続いたします。
	今後に期待したい。	仁衡委員	航空宇宙向けエンジン部品での利用が期待される材料製造技術について、各製造工程の開発は進んでいるが、量産化に向けては製造条件の最適化などの課題を解決する必要がありますので、引き続き実用化に向けた研究開発を推進してまいります。		
14	いばらき地酒バー販売拡大促進事業	評価できる点	コロナ禍にもかかわらず、商談成立件数、地酒提供サポーターズ認定件数の実績値が目標値を大きく超えて躍進していることが評価される。これはどのような取組が奏功したものであるか？	吉田委員	【商談成立件数について】 国内向けの商談会においては、2回のバイヤー招聘型バスツアーを実施したほか、より多くの参加者を集めるため、オンラインでの商談会を実施しました。 また、海外展開においては、前年度からの継続であるシンガポール、台湾に加え、香港においても通年コーディネーターを配置し、バイヤーへの営業活動を実施いたしました。現地飲食店のシェフに試飲のうえで意見を頂き、売込み商品を選定したことや、オンラインによる試飲商談会など工夫を凝らした事業を実施したことが結果に結び付いたものと考えています。 【いばらき地酒提供サポーターズ認定件数について】 「いばらき地酒提供サポーターズ」は、生産から流通、販売、消費をつなぐ地酒応援ネットワークを構築することを目的に、酒蔵や小売業者等を対象として会員の認定をしており、地酒の消費拡大に向けた、業界内での自主的な取り組みを促してきました。新型コロナウイルスの感染拡大による酒造業界への影響をうけ、同制度が効果的に機能するよう、県において個別の声掛けを行った結果、制度の趣旨に賛同する多くの企業にご参加いただくことができました。
			商談ツアーはとても良い支援だったと思います。	清山委員	
			県のネットワークと信用を十分に生かした施策展開の結果が数字に表れている好事例	高田委員	
			KPI2の達成率はすばらしい	仁衡委員	

No	事業名	項目	内容	委員	回答
14	いばらき地酒バー販売拡大促進事業	改善すべき点	課税移出数量の減少は大問題だと感じる。新型コロナの影響ということで致し方ないと思われるが、外飲みが減り、家飲みが増える状況下で、酒販店、そしてその先の消費者に向けて如何に茨城の酒の魅力・味を伝えられるかが大事では。KPI2や3はすばらしいと思うが、消費者に向けた目標の追加設定・事業促進も合わせて望みたい。	仁衡委員	市場の縮小と新型コロナウイルスの影響による消費動向の変化が生じているなか、アフターコロナを見据えた取り組みをより一層推進していく必要があると考えます。 本事業は令和3年度で終了となりましたが、令和4年度には、新規事業（茨城地酒振興事業）として、飲食店等への販路拡大を引き続き推進しつつ、「いばらき地酒バー」のリニューアルやインフルエンサーを活用したPR等により、一般消費者に対し県産日本酒の魅力を直接発信する取り組みも積極的に実施して参ります。
		その他ご意見・ご質問	いばらき地酒バーは水戸駅のほか、各所にあると思われるが、この施設の法的な整理（公の施設等かどうかなど）についてご教示いただきたい。	吉田委員	「いばらき地酒バー」は、JR水戸駅及びTXつくば駅に設置しており、両店舗ともに、地方自治法の「公の施設」ではございません。県の負担により店舗を整備し、県が公募により選定した事業者に対して当該設備等を無償で貸し付けております。 県と事業者が締結する覚書において、店舗の運営は「県産日本酒の魅力に接する機会を創出する」ことを目的とし、県が定めた条件（営業時間や提供メニュー等）に従って営業することを定めています。
			オンライン参加型イベントの参加者数はどのくらいでしょうか？期待しています。	清山委員	計3回実施し、延べ361名の参加がありました。なお、回ごとの参加者数は以下のとおりです。 第1回（8/29） 164名 第2回（11/7） 93名 第3回（2/27） 104名
15	スタートアップ・エコシステム拠点都市推進事業	評価できる点	KPI未達であるが、技術シーズの発掘・事業化の支援30件や4件の起業に至った実績は十分評価できる。	高田委員	
		改善すべき点	KPI3つに設定された数が小さい数字のため、評価が難しい	仁衡委員	KPIの数値について、以下の通り、補足させていただきます。 【KPI①】「資金調達1億円を達成した企業」については、目標を2015～2018年度までの過去4年の実績値の平均1.5社/年を上回る年2社と設定しております。R3年度の実績は4社となり、過去（2015～2018）の実績と比べて2倍を上回る成果となっております。 【KPI②】雇用者数については、目標を9名（支援企業9社×1名の増加）と設定しております。R3の実績は、雇用者が増加した企業は7社（うち1社は10名増加、前年度比40%の増）である一方、経営環境やコロナの影響等により雇用者が減少した企業が4社、雇用者数の増減が無かった企業が6社となり、合計で6名の増加となりました。今後、支援企業のフォローアップ等を通じ、企業の成長、及び、雇用者数の増加につなげてまいります。 【KPI③】予算との兼ね合いもあり、KPIは4件となっておりますが、補助対象とならなかった案件も、県のハブ機能を活かして支援しております。
		その他ご意見・ご質問	支援により資金調達1億円を達成した企業が目標値を超えているが具体的な支援の内容と資金調達との関係をご教示いただきたい。	吉田委員	専門家による事業戦略構築支援や、投資家や大企業の投資部門が参加するピッチ機会の提供など、各社の課題に対応した支援を行った結果、昨年度は4社の資金調達に結びついております。
			頑張ってください。雇用は常勤正規かどうか分かるように必ず記載してください。	清山委員	KPIには、正規・非正規含む常勤職員数に加え、常勤役員数を含めて設定しております。ご指摘を踏まえ、常勤職員数の雇用形態も正確に把握するよう努めてまいります。
	雇用者人数の増加というKPIはベンチャー企業においては評価指数たり得るだろうか？規模が判らないため。増加率としてはどうだろうか。前年度までの雇用者数を100%として何パーセント増えたかを見る。	仁衡委員	第2期「茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、雇用創出数を数値目標としているため、本KPIでも雇用者の増を設定しております。ご指摘いただいた、雇用者の増加率については、基準値（R3.3末149名）と比較し、4%の増（R4.3末 155名）となっております。		

No	事業名	項目	内容	委員	回答	
16	高度IT人材等育成・新事業創出支援事業	評価できる点	いずれのKPIも達成しており評価できる。	吉田委員		
			3つのKPIとも優れた達成度であると評価したい	仁衡委員		
		改善すべき点				
		その他ご意見・ご質問		講座を通じて習得したスキルを用いて事業に取り組んだ企業が、目標値を上回る34社あったがそのうち33社が中小企業人材育成事業による実績であり、高度IT人事育成・確保事業によるものは1社のみと課題があげられているがこの意味（なぜ課題なのか、高度IT人材育成・確保事業になぜ乗らないのか等）を具体的に説明いただきたい。	吉田委員	<p>中小企業人材育成事業については、建設事業者がドローン操縦資格を取得することによって新たな事業活動を実施するなど、明確な目標を設けた事業者が利用するのに対し、データサイエンスを学ぶ高度IT人材育成・確保事業については、企業が保有するデータを何に利用できるかや、どのようなデータを取得すべきかといった課題について、スキル習得を通じて取り組むものとなるため、講座で習得したスキルを用いて事業に取り組む企業が生まれるには相当程度の時間を要することとなります。</p> <p>このため、早期の成果創出を目指し、令和4年度からは、専門家による伴走型支援を実施するなどの取り組みを進めているところです。</p>
				今後爆発的に伸びることを期待します。	清山委員	企業における新事業の創出に向け、取り組みを進めてまいります。
		講座受講人数を60～65人と設定する理由は奈辺か。出来る限り多くの人材の育成に取り組んで頂きたい。	仁衡委員	<p>中小企業人材育成支援事業については、新事業へ取り組む際に必要となる資格取得等に要する費用を補助率1/2で10万円まで補助するものとなっておりますが、本事業の予算規模は約500万円であるため、約50社の利用を見込んでいます。</p> <p>一方、高度IT人材育成・確保事業については、約1,700万円の予算規模により事業を実施しておりますが、本事業は、受講者に資格取得等に要する費用を補助するものではなく、スキルの定着に必要とされる5～6か月にわたる講義及びeラーニングのほか、修得状況に応じた個別フォロー（質問対応等）への常時対応などを行うため、20社を上限に実施するものになります。</p> <p>以上から、2事業の合計で60～65名の受講を想定しているところです。</p> <p>また、ご指摘のとおり、より多くの人材育成を図る必要があることは認識しており、令和4年度から、高度IT人材育成・確保事業において各社最大2名までeラーニングでの受講や授業の映像視聴を可能とするなど、改善を図っております。</p>		
17	ひたちなか大洗リゾート構想推進事業	評価できる点	本年8月に大洗で開催されるカジキ釣り大会（大洗インターナショナルフィッシングフェスティバル、8月27～28日開催予定）での、観光客数増加に期待している。こういったイベントと来年開催されるDC事業（所管課：観光物産課、茨城をPRするJRが主催するディステーションキャンペーン事業）を組合せ、効果的な誘客を図りたい。	高田委員		
			新型コロナの影響が大きい事業であり評価を留保したい	仁衡委員		
		改善すべき点				
		その他ご意見・ご質問	アフターコロナの事業の伸びに期待しています。	清山委員	今後もアフターコロナ期の観光需要回復を意識し、より効果的な事業内容を検討、実施してまいります。	

No	事業名	項目	内容	委員	回答
17	ひたちなか大洗リゾート構想推進事業	その他ご意見・ご質問	予算額が他事業に比べて少ないのではないかと心配。中途半端な予算額だと成果がでないのではないかと心配。	仁衡委員	地方創生推進交付金事業はひたちなか市及び大洗町と1/3ずつ負担して実施しているため、R3年度の総事業費は約17,000千円となります。また、県単独でもカジキ釣り国際大会を中心とした総合イベントの開催や渋滞緩和に向けた交通状況調査などに取り組んでおり、リゾート構想を着実に進めているところです。 この他、景観を活かしたグランピング施設のオープンや海岸のイベントの実施など、地域の魅力向上に繋がる関係団体や民間主体の取組も増えてきていることから、今後も協議会を中心に取組を進めるとともに、関係団体等の取組をより一層促進し、観光消費額の向上等を図ってまいります。
18	水郷筑波・サイクリングによるまちづくりプロジェクト	評価できる点	利用者、消費額ともに毎年増加しており、KPIは達成ならずとも評価できる内容	高田委員	
		改善すべき点	新型コロナの影響が大きい事業であり評価を留保したい	仁衡委員	今後も、コロナ感染防止対策に努めつつ、利用者や消費金額を増やしていく取組を進めていきます。
		その他ご意見・ご質問	今後の取組が大切だと思います。サイクリスト増加が地元中小事業者に還元されるような事業者支援が必要だと思います。消費できる消費したいと思えるように、商品・サービスやその販売方法の見直しも必要ではないでしょうか	清山委員	ルート沿線の市町村を周遊してサイクリストに消費していただけるよう、令和4年3月末～5月にかけて、対象スポットや店舗での購入でポイントがもらえるスタンプラリーを実施したところです。このような消費につながるような取組を進めていきます。 また、サイクリストが購入する傾向のある商品について、協議会を通じて各市町村や事業者と検討・周知していく等、消費を促す仕組みを創出していきます。
			一人あたりの消費額があまり伸びていないように見えるが、これをどう評価しているか。周知はある程度されてきたと思われるため、稼げる地域にする次のステップの具体策をききたい	高田委員	コロナ禍の中で観光需要が落ち込む中、一人あたりの消費金額は微増でほぼ横ばいとなっております。 今後は、消費金額を上げるため、サイクリストにやさしい宿の認定や、モニターツアー等を通じて、周辺のアウトドアアクティビティと組み合わせた体験型観光を推進していくことに加え、首都圏の学校及び旅行会社を中心にサイクリングツアーの広報等を積極的に行っており、宿泊につながるような取組を実施していきます。
	レンタサイクルのように多くの人が使い回す物品の場合、ウィズコロナの状況にあっては安心して使えることが大事と考える。消毒をどのような手法でどのような頻度で行っているかを利用者や利用を検討する人に分かりやすく伝える取組を行うべきだと思料する	仁衡委員	利用者が安心してレンタサイクルを使用できるよう、それぞれの貸出・返却施設で自転車の消毒や消毒液の設置等の感染対策を行っております。今後、ホームページや貸出施設等でも対策内容や頻度について掲載するようにしていきます。		
19	いばらきサイクルツーリズム推進強化事業	評価できる点	サイクリスト宿泊者数がコロナ禍でも大幅に目標達成していることは大いに評価ができる	高田委員	
			サイクリスト宿泊者数の達成率	仁衡委員	
		改善すべき点	KPI2およびKPI3の数は小さい数字過ぎて、評価が困難。例えばKPI2であれば誘致件数ではなく誘致人数とするなどの工夫を望みたい	仁衡委員	KPI2について、誘致人数はコロナの感染状況及び学校の生徒数によって、件数よりも年ごとに差が出る可能性があると思料したため、件数での評価といたしました。 また、KPI3は前例がない事業であり、基準値がなかったため、このような目標値を設定しました。
		その他ご意見・ご質問	首都圏を中心とする県外需要と県内の需要双方を取り込めるようになると良いと思います。	清山委員	県北・県央地域については、利用者数調査などから県内外の来客層及びニーズの把握を行い、誘客につながる取組を進めてまいります。
移住・定住向けサイクリングツアーという設定自体に難しさを感じる。困難への挑戦にエールを送りたい。ツアー内容の見直しに期待。	仁衡委員		移住・定住とサイクリングをどのように繋げ、ツアーの充実度を上げていくかを検討し、参加者を増加させる取組を進めてまいります。		

No	事業名	項目	内容	委員	回答
20	アクアワールド茨城県大洗水族館魅力向上事業	評価できる点	新型コロナの影響が大きい事業であり評価を留保したい	仁衡委員	
		改善すべき点	コロナありきのKPIを再設定したほうがよいのではないか。来場者数で魅力向上事業としてを評価するには、コロナによる行動制限等で影響がでやすく、KPIが達成できていない⇒魅力がないとは必ずしも言えないため、評価がしづらい。	高田委員	(制度上、KPIの再設定をすることはできないとのことですが) コロナ禍の中にあっても、切れ目のない誘客促進策を実施していくことで、引き続き事業効果の最大化を図ってまいります。
		その他ご意見・ご質問	コロナで大変だったともいます。水族館のナイト営業は上手にやればビジネスとして成立すると思います。全体として今後に期待します。	清山委員	水族館では、新たな取組みとして、ナイト営業やユニークメニューなど館の持つ特性を最大限生かした運営に果敢にチャレンジしており、認知度の向上や費用対効果の追及等引き続き取り組んでまいります。
			ナイト営業についてはナイトライブとして新たな演出によるイルカショーを行ったということ、革新的な取組みに敬意を表したい。いっぽうで新型コロナ禍のなかでの難しさがある状況ではしばらく凍結してもよいのではないか。人件費や光熱費等も嵩むことであろうし、費用対効果の観点も大事にしていきたい。	仁衡委員	費用対効果につきましては、毎回損益分岐点を算出し管理しているところであり、新型コロナ感染状況等を注視しながら、引き続き事業効果の最大化を図ってまいります。
21	ビジット茨城・DX誘客促進事業	評価できる点	事業進捗状況に書かれた新たなコンテンツの作成などに期待します。具体的な裏付けデータがあると良いです。	清山委員	これまでの本県への来訪者実績や、旅行消費額・滞在時間等に関するビッグデータを踏まえつつ、ターゲットの特性を整理したうえで、新たなコンテンツの造成を図ってまいります。
			インバウンド需要が見込めない中、デジタル等を活用し、魅力を発信しつづけており、未来へつながる種まきをしている点は大いに評価できる。	高田委員	
			新型コロナの影響が大きい事業であり評価を留保したい	仁衡委員	
		改善すべき点			
		その他ご意見・ご質問	コロナ禍からの脱却によるインバウンド市場の回復の取組は重要であり、評価するが、DXの推進がどのようにインバウンド拡充につながるのか具体的にご教示いただきたい。	吉田委員	県内の観光事業者等が提供するコンテンツや新たに造成するコンテンツについて、ターゲットのカスタマージャーニー（観光情報の認知～興味・関心～検討～予約までの行動プロセス）に沿ったデジタルによる情報発信を行ってまいります。 また、OTAサイト（オンラインで宿泊や体験などの旅行商品を販売しているサイト）との連動による予約・決済システムのオンライン化を推進することにより、PV（WEBサイトへアクセスされた数）やCVR（WEBサイトへアクセスされた数のうち、実績に予約に至った数の割合）等のデータを蓄積・分析し、デジタルマーケティングの強化を通じてインバウンドの拡充を図ってまいります。
		その他ご意見・ご質問	観光振興と感染症対策は別部署が所管すると思うが、その両立が難しい2つを合わせて判断し、その時点でどちらを重視すべきか高所大所から判断する部署はあるのか。現場で頑張る部署とは別に、そういった部署が必要だと感じる。	仁衡委員	本県では、「新型コロナウイルス感染症対策本部（本部長：知事）」において、現下の感染状況を踏まえた対策を迅速に講じるとともに、先を見据えた施策（観光振興策を含む）を実施するため、「県の重要政策及び重要事業についての企画及び調整」の役割を担う政策企画部政策調整課が中心となって、全庁的な情報共有や総合調整を図ることで、知事の判断のもと、適宜、各施策の検討を行ってきたところです。 感染症対策と社会経済活動との両立を図ることは大変重要であると認識しており、引き続き、適切な施策の検討・実施に努めてまいります。

No	事業名	項目	内容	委員	回答
22	茨城県フラワーパーク振興対策事業	評価できる点	新型コロナの影響が大きい事業であり評価を留保したい	仁衡委員	
		改善すべき点			
		その他ご意見・ご質問	ワークショップ体験人数はKPIを大きく上回っているが、体験料収入は目標を大きく未達成なのはどう評価しているか 説明資料においてKPI3は「利益(収入)」となっており、「利益」すなわち「収入-経費」なのか、「収入」なのか判然としない。表記の改善を望みたい。 評価書26ページでは「経営利益」と記載があるがこれはいわゆる「黒字額」と考えてよいか？もしそうなのであれば新型コロナの影響があるなかで健闘していると思う。先述説明資料の表記の問題からこの数字をどう評価していいか判然としない点が残念。	高田委員	当初は、体験料1,500円/回を想定していたが、気軽に体験できる比較的安価なワークショップも常時開催することとした。このため、参加人数は当初想定していた目標数を上回る結果となった一方で、比較的安価なメニューの参加者が多く、体験料収入については目標額を下回る結果となった。 今後、人気のあるメニューを強化するなど開催内容を見直すことで、より参加者を増やし、体験料収入についても目標を達成できるよう取り組んでいく。
		仁衡委員	「利益(収入)」は、「収入-経費」ではなく、「収入のみ」を計上しております。 また、本KPIは新設したレストラン・カフェの収入を指標としているため、併せて表記を修正いたします。		
23	茨城県フラワーパークワークショップ施設整備事業	評価できる点	新型コロナの影響が大きい事業であり評価を留保したい	仁衡委員	
		改善すべき点			
		その他ご意見・ご質問	評価書26ページの「KPI設定の考え方」が25ページと同じになっており参考とできない。改善を望みたい。	仁衡委員	記載が誤っておりましたので、修正いたしました。
24	いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト	評価できる点	コロナ禍で大会の開催が困難な中、事業を継続できたこと	清山委員	
			NHK水戸放送局のニュースでの紹介、新聞記事での紹介など、県民に取り組みが浸透する状況を作り出している	仁衡委員	
		改善すべき点	評価書に「R4年度はアフターコロナを見据え」とあるが「長く続くウィズコロナ」となる可能性もある。「ウィズコロナ」状況の場合でも前進する取り組みとしてほしい	仁衡委員	「ウィズコロナ」状況でも前進できる取り組みとなるように、オンラインでも実施が可能であるeスポーツの特長を活かした取組を進めるとともに、これまで関わりの薄かった企業や市町村などへのヒアリング等働きかけ、取組への参画を促すことで、県内eスポーツのさらなる機運醸成へとつなげてまいります。
			1年目、2年目は事業所数、集客数とも目標を大きく上回っているが、昨年度から急激に鈍化していることが気になる。その原因はコロナ禍以外にもマンネリ化、発信不足などもあり得そうである。今後どうしていくのかビジョンを示して、関連事業者はじめ幅広く県民の運動につなげることも検討すべきと思うがどうか？	吉田委員	今年度、これまで関わりの薄かった企業や市町村などへのヒアリングを実施し、eスポーツに取り組む課題などを把握したうえで、今後のビジョンを示していきたいと考えております。 また、今年度は県社会福祉協議会、老人福祉協議会の協力を得ながら、新たにシニア層に向けたeスポーツの認知度向上を行うとともに、社会人や高校生とがeスポーツを通じて交流できる場の提供などを行うことで、幅広く県民の運動につなげて参りたいと考えております。
		その他ご意見・ご質問	大会のオンライン配信などもされているのでしょうか？	清山委員	大会のオンライン配信は、いばらきeスポーツ産業創造プロジェクトのyoutubeチャンネル(https://www.youtube.com/channel/UC1khCSnv1kXZ5VAQ7h8YmJA)にて、実施しております。
			「県内企業において、収益化の予測が難しいなどの課題がある」とあるが、本課題について、具体的な解決策は考えているか？	高田委員	今年度は、県内企業等へのヒアリングのほか、eスポーツに取り組む県外企業へのヒアリングなども実施し、具体的な解決策を探っていきたくと考えております。
	R3年度はC評価だが新型コロナの影響が多度であり、R1年度、R2年度はA評価であったことを鑑み、R3年度は度外視してよいと思う。R4年度の「ウィズコロナ」における前進に期待したい	仁衡委員	オンラインでも実施が可能であるeスポーツの特長を活かした取組を進めるなど、「ウィズコロナ」状況でもオンライン・オフラインを使い分けるなどして、eスポーツに興味を持つ県内企業が増加するよう取り組んでまいります。		

No	事業名	項目	内容	委員	回答
25	外国人材活躍促進事業	評価できる点	セミナー・研修会への参加企業数が288社というのは大変多い数字で評価したい。また、入国制限等の困難がある中で重点国との関係強化に取り組んだ姿勢も評価したい。	仁衡委員	
		改善すべき点	新型コロナ禍のなかで困難があるためマッチング人数がKPIに届かないのは致し方ないが、そろそろ100人には乗せたいところと思う。無理をし過ぎてはいけませんが、成果が必要とされる時期に入りつつあるとも感じる。今般の環境下ではKPI設定自体を294といった困難な数値とせず100に設定して達成を目指すと言った方策も有り得ると思料する。	仁衡委員	昨年度の本委員会において、適切な目標値の設定について、ご指摘を頂いており、令和4年度以降の目標値につきましては、実態に即した数値を設定し、国へ計画変更したところであります。 また、今般、円安等により外国人材獲得に係る競争力激化が懸念されるところでありますが、マッチング人数の目標達成に向け、本事業を通して協力関係を構築した海外政府や教育機関等と連携し、企業説明会や面接会等を実施してまいります。 【参考】令和3年度マッチング数（国への計画変更不可）109件 令和4年度マッチング数（現状に即した数値で設定）35件
		その他ご意見・ご質問	就職マッチングの対象とする外国人材の目標値の設定はどのように行っているのか、ご教示いただきたい。	吉田委員	昨年度の本委員会において、適切な目標値の設定について、ご指摘を頂いており、今回記載しました令和3年度分の目標値は、時期的に国へ計画変更できませんでしたが、令和4年度以降の目標値につきましては、実態に即した数値を設定し、国へ計画変更したところであります。 【参考】令和3年度マッチング数（国への計画変更不可）109件 令和4年度マッチング数（現状に即した数値で設定）35件
			介護人材などの永住化を想定された事業でしょうか。もしそうであれば、将来的な社会的コスト（社会保障や教育その他コスト）の増加が予測されますので留意が必要だと思います。また急速な円安による短期就労のメリットが薄れてきていますので、この点にも留意が必要だと思います。	清山委員	県では、現在、介護福祉士など、県内産業を支える優秀な人材に長期にわたって在留してもらうスキームを構築しております。 社会保障費の増加など、外国人材受入に伴う各種課題につきましては、国の施策等に留意し、本県の施策を展開してまいります。 また、今般、円安等により、外国人材獲得に係る競争力激化が懸念されるところであります。県では、特定技能試験の見直しの早期実現や水際対策の緩和など、外国人材受入促進に向け、国へ要望しているところであり、引き続き、国への働きかけを行ってまいります。
		その他ご意見・ご質問	重点国に注力するのは大変よいこと。いっぽうで、様々な観点から企業によってはその他の国の人材を視野に入れる場合がある。そういった場合への支援への目配りが大事と考える。今後も継続しての事業推進に期待したい。	仁衡委員	海外在住の外国人材の受入れにあたっては、海外政府などのカウンターパートと連携して進めていく必要があるため、特定の重点国に注力しておりますが、国内在住の留学生につきましては、国籍問わず、県内企業からのニーズを踏まえマッチングを進めております。
26	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	評価できる点	マッチングや相談件数が目標値を上回る実績を維持しており、評価できる。	吉田委員	
			KPI1およびKPI2の達成	仁衡委員	
		改善すべき点	大手企業とどのような連携をするのか見えづらいため評価が難しい。もし今後も大手企業に関して継続して取り組むのであれば何を目的にどのように取り組むのかをより明確にして事業を推進いただくことを期待したい。	仁衡委員	大手企業との連携については、賃金等の面で、「転職」・「出向」よりハードルが低い、「副業」・「兼業」の人材マッチングの取組を強化し、人材マッチングを促進して参ります。
		その他ご意見・ご質問	「プロフェッショナル人材戦略拠点」が重要な役割を果たしているような印象があるが、どのように活動されているのかを簡潔に説明願いたい。	吉田委員	プロフェッショナル人材戦略拠点（（株）ひたちなかテクノセンター）に配置したマネージャー（8名）が県内中小企業を訪問し、各企業の成長戦略の実現や経営課題の解決に必要なプロフェッショナル人材のニーズの具現化を図り、転職のみならず副業等も含めた多様な就業形態によるマッチングを支援します。 また、高度なスキルを持つ人材と県内中小企業とのマッチングイベントの開催やフォローアップ、県内中小企業を対象とした副業人材の活用事例を紹介するセミナーの開催などを実施しております。

No	事業名	項目	内容	委員	回答
26	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	その他ご意見・ご質問	プロフェッショナル人材の中身（職種、雇用形態、都市部との県内賃金格差や水準）やマッチングの方法について具体的なデータがあると良いです。	清山委員	R3マッチング人材については、製造業が最も多く（66%）、雇用形態は、正社員が134件、正規雇用以外（副業）が12件となっており、専門職ポストが75%を占めています。なお、採用時の年収は、500万円以下が73%を占めております。 マッチング方法につきましては、①民間人材ビジネス事業者（本県登録事業者31社）を介した人材マッチング②民間人材ビジネス事業者を介さない、都市部大企業（当該事業連携企業：50社）による人材交流（出向・副業・兼業）の2種類ありますが、R3年度は①の手法が99%となっております。
			大手企業の訪問件数をKPIに設定しているが「訪問件数」というKPIには違和感を感じる。KPI1の「実現件数」やKPI2の「相談件数」なら成果と言えると思うのだが、「訪問件数」は成果とは言えないのでは。大手企業に関して継続して取り組むのであればKPI設定を変えたほうがよいのではないか。	仁衡委員	昨今、副業解禁が促進されているところですが、現在、副業・兼業を容認していない大企業も多く、アプローチやマッチング実現が難しい状況にあり、「訪問件数」を指標としているところです。頂いたご意見をもとに、令和5年度以降の指標について検討させていただきます。
27	茨城県就職支援奨学金助成事業	評価できる点	高校生向け早期キャリア講座	清山委員	
		改善すべき点	事業目的を読み、本県にとって極めて大事な事業であると感じた。このような大事な事業が4年連続C評価、KPI値も0か1ということは大変残念である。制度改正という問題があり現実的で無い場合は、別の形に切り替えて「若者の還流・定着」に資する取り組みを推進して頂きたい。	仁衡委員	本事業は、（独法）日本学生支援機構の給付型奨学金の受給要件を満たしながら、学校推薦枠に漏れたため、給付型奨学金を受給できなかった者を対象に、将来の県内定住・就職を条件に返還を助成するものです。 当初の想定では、毎年、支援対象者を認定する予定でKPIを設定しておりましたが、制度改正により学校推薦枠が撤廃されたことで、事業開始から1年で本事業の対象者が存在しなくなったため、KPIと実績が大きく乖離しております。 本改正により、要件に合致する者は給付型奨学金を受給できるようになったことから、返済の重荷を理由にした賃金水準の高い首都圏への就職者は無くなったと判断され、本事業の目的は達成したと考えているため、今後は既存認定者の支援に努めると共に、「若者の還流・定着」につきましては、経営者随伴インターンシップをはじめとしたUIJターン施策の推進により取り組んでまいります。

No	事業名	項目	内容	委員	回答
27	茨城県就職支援奨学金助成事業	その他ご意見・ご質問	事業の発想は評価できるが、いずれのKPIも目標値と実績が乖離しており、対象の見極め方などを抜本的に見直す等の検討をする必要はないか、ご教示いただきたい。	吉田委員	<p>本事業は、(独法)日本学生支援機構の給付型奨学金の受給要件を満たしながら、学校推薦枠に漏れたため、給付型奨学金を受給できなかった者を対象に、将来の県内定住・就職を条件に返還を助成するものです。</p> <p>当初の想定では、毎年、支援対象者を認定する予定でKPIを設定しておりましたが、制度改正により学校推薦枠が撤廃されたことで、事業開始から1年で本事業の対象者が存在しなくなったため、KPIと実績が大きく乖離しております。</p> <p>本改正により、要件に合致する者は給付型奨学金を受給できるようになったことから、返済の重荷を理由にした賃金水準の高い首都圏への就職者は無くなったと判断され、本事業の目的は達成したと考えているため、今後は既存認定者の支援のみを行い、対象の新設・変更は検討しておりません。</p>
			KPI「本事業による県内就職者数」について、目標17人に対し実績1人はどう評価すべきか？	高田委員	<p>本事業は、(独法)日本学生支援機構の給付型奨学金の受給要件を満たしながら、学校推薦枠に漏れたため、給付型奨学金を受給できなかった者を対象に、将来の県内定住・就職を条件に返還を助成するものです。</p> <p>当初の想定では、毎年、支援対象者を認定する予定でKPIを設定しておりましたが、制度改正により学校推薦枠が撤廃されたことで、事業開始から1年で本事業の対象者が存在しなくなったため、KPIと実績が大きく乖離しております。</p> <p>本改正により、要件に合致する者は給付型奨学金を受給できるようになったことから、返済の重荷を理由にした賃金水準の高い首都圏への就職者は無くなったと判断され、本事業の目的は達成したと考えているため、今後は既存認定者の支援に努めると共に、「若者の還流・定着」につきましては、経営者随行インターンシップをはじめとしたUIJターン施策の推進により取り組んでまいります。</p>
			経営者随行インターンシップなど新しいアイデアを進めようとしている点がよい。形は問わず、事業目的の達成に邁進いただきたい。	仁衡委員	引き続き、UIJターンの施策推進に取り組んでまいります。
28	UIJターン・地元定着支援強化事業	評価できる点	高校生向け早期キャリア講座受講者数が目標値を大きく上回った点。また新型コロナ禍のなかで様々な工夫を凝らして事業を推進している点	仁衡委員	
		改善すべき点	UIJターン、地元定着の数値こそ重要。R3年度数値がなく、判断が難しい。7月中旬に速報値が出ると評価書にあるが出ているようであればお知らせください。	仁衡委員	本県出身県外大学生の県内企業等へのUターン就職者数 (R3) 目標値1,316人 実績値1,428人 達成率197%
		その他ご意見・ご質問	本県出身県外大学生のUターン就職者数の把握は意義深いですが、全体のうちのぐらいの割合の学生がUターンしているのか、また、その目標値の設定はどのような考えによるものかをご教示願いたい。	吉田委員	<p>・いばらき就職応援くらぶに加盟する県外大学94校を対象に調査しています。</p> <p>H29 1,264人/4,792人=26.4%</p> <p>H30 1,201人/4,977人=24.1%</p> <p>R1 1,166人/4,724人=24.7%</p> <p>R2 1,263人/4,743人=26.6%</p> <p>R3 1,428人/4,901人=29.1%</p> <p>※本県企業への就職者数/本県出身者のうち就職者数=Uターン率</p> <p>・基準値を設定したH30年度の状況から、前年度(H29)の水準の維持・継続を目標とし、目標値は、3か年で200人(16%)増と設定しました。</p>

No	事業名	項目	内容	委員	回答
28	UIJターン・地元定着支援強化事業	その他ご意見・ご質問	小学生向けキャリア教育を総合学習や社会の時間などを利用して行うと良いと思います。質の良い求人がある業界や仕事、人手不足で今後も良質な人材確保が必要な業界や企業を地域の事業者や業界団体等の協力を得て行えると良いと思います。就職先の選び方、仕事の探し方、UIJターンするときの方法なども具体的に教えると良いと思います。（転職率が高いため。）	清山委員	労働行政の視点で実施するキャリア教育については、引き続き校種に応じた内容を検討してまいります。また、県教育庁に対し、小学生向けキャリア教育についてご意見をいただいた旨、共有させていただきます。 なお、当課では、現在、大学生向けのUIJターンセミナー、高校生向けの早期キャリア講座を実施し、県内就職についての情報発信を行っております。
			「戦略型採用」の内容について詳らかではないが、中小企業に「戦略型採用」を定着させることは難しい課題だと思う。単に講座を開いて終わりではなく定着に向けた工夫を期待したい。	仁衡委員	戦略型採用とは、新卒者の採用を、欠員補充やルーティン業務と捉えるのではなく、会社の将来ビジョンを明確にし、それを達成するために必要な人材を確実に採用し、自社の業績向上・経営力強化に繋げることと考えています。 R4は、戦略型採用を展開する上で必要な、効果的な情報発信等のノウハウを伝えるとともに、実践まで支援し、採用を見直す機会を提供してまいります。
29	県北ニューツーリズム推進事業	評価できる点	コロナ禍でもロングトレイル来訪者数が大幅に目標値を上回っており、口コミの広まりも大きい。山岳情報誌への特集掲載などターゲットを絞るが確実に確度の高いところへのPRが功を奏していると思われる。	高田委員	
			KPI3が目標値を大きく上回った点	仁衡委員	
		改善すべき点	大規模山岳イベントが難しい状況下においては、中規模或いは小規模イベントを多く行うといった工夫を凝らし、KPI達成、ひいては山岳ツーリズムの推進を図っていただくことを期待したい。	仁衡委員	整備体験やハイキングなど、コロナ禍でも安心して楽しめる少人数（20～30人程度）イベントを複数回行うことで目標の達成に努めてまいります。また、宿泊を伴うモニターツアーを実施するなど、県北地域での山岳ツーリズムや観光消費額拡大を進めてまいります。
			インターネット検索したときに、魅力的なコンテンツがすぐにヒットすると良いと思います。	清山委員	令和3年度末に、公式HP（県北ロングトレイル https://kenpokult.com ）上で「茨城県北ロングトレイルで発見する地域資源」と題して、観光や自然・歴史など県北の様々な地域資源を紹介する記事を掲載したところです。 引き続きコースの延長に併せて、ロングトレイルと県北地域の魅力を伝える情報を発信して参ります。
その他ご意見・ご質問	山岳イベントだけではなく、小冊子やメディア利用等により県北の山岳やそこにある歴史的魅力(常陸三十三観音霊場など)を広く知らしめる活動も期待したい。	仁衡委員	県北の地域資源を自然や歴史、文化、立地といった観点から深堀りしてトレイルマップやHPで紹介していくことで、山と地域資源を巡る歩く旅としての魅力向上に努めてまいります		
30	つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト	評価できる点	2拠点居住や移住は、リモートワークの進展とともに急速に可能性が高まっていると思います。東京に流出した若年層が結婚して住まいを構えるときに、大きなチャンス。大いに期待しています。	清山委員	
			KPI1の達成	仁衡委員	
		改善すべき点	本事業の目指すところが詳細にイメージできないが、評価値の推移がA⇒C⇒Cとなっていることを見る限り、目的あるいは手法の見直しが必要ではと懸念する。	仁衡委員	KPI2、KPI3のが未達のため評価はCとなっておりますが、コロナを契機とした地方移住の流れがある中で、県内の受け皿となる「しごと」を増やして移住・関係人口創出を促進してまいります。
			その他ご意見・ご質問	KPI①の県や市町村が「把握する」移住者数・二拠点居住者数や、KPI②の「関係人口数」の把握はどのように行われているのか、その政策の方向性に沿った形でご教示いただきたい。	吉田委員

No	事業名	項目	内容	委員	回答
30	つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト	その他ご意見・ご質問	フリーランスの働き方はコロナ禍のなかで深刻な影響を受けたことが指摘されています。今の日本では労働法の枠外での働き方になり、所得の高い良質な働き方としての仕事の創出が必要だと思えます。ブラックな請負労働者にならないよう留意が必要です。	清山委員	フリーランスや副業人材のニーズに応じた仕事を創出するために、令和4年度については、県内企業の仕事の切り出し・契約のサポート・伴走支援を行う新たな人材の誘致事業を行い、人材のニーズに合わせた対応を行ってまいります。
			R2年度評価が評価書ではC,説明資料ではAとなっているがどちらが正か？	仁衡委員	評価書が正で、説明資料は誤りです。申し訳ございません。
31	わくわく茨城生活実現事業	評価できる点	資料からは読み取れない	仁衡委員	
		改善すべき点	KPI1こそが本事業の本丸であると考えますが、極めて低い数値になっている点が残念。抜本的な改善が必要ではないか。	仁衡委員	KPI1については、登録が少ない分野の法人等にアプローチし、就業での活用を引きつづき図るとともに、テレワーク要件など制度を総合的に活用して、移住の推進に取り組んでまいります。
		その他ご意見・ご質問	KPI①の移住就業者数は目標値とかけ離れて未達成の実績となっているので、当該目標の設定に問題があるか、あるいは、その指標の立て方に問題があるかと思われるが、この点についてのお考えをご教示いただきたい。	吉田委員	本事業は、全国的な制度として実施されているものですが、国が当初設定した要件が厳しく、全国的にも就業での活用が進まなかったことから、国も就業だけでなくテレワーク等に要件を拡大するなど制度の改善を図っております。 本県としても、登録が少ない分野の法人等にアプローチし、就業での活用を引きつづき図るとともに、テレワーク要件など制度を総合的に活用して、移住の推進に取り組んでまいります。
			コロナ禍もあり移住者が増加している一方で、移住支援金の支給はあまり利用されていない状況をどのように解釈すべきか？	高田委員	R3年度より国の制度設計が変更となり、比較的要件が適用しやすいテレワーク要件での申請が大幅に増え、移住支援金全体の支給実績は増加しております。一方、KPIの目標としている、県内企業への就業による移住については、登録が少ない分野の法人等にアプローチするなど、引きつづき移住支援金対象法人の拡大と制度活用を図ってまいりたいと考えております。
	起業支援と移住支援は分けて考えた方がよいのではないか。起業したいがために支援を当てにして移住してきて数年後には県外に去ることがないことを願いたい。	仁衡委員	本事業は、国の制度上、起業支援金と移住支援金を切り離して実施することができない事業であります。移住後の転出については、移住支援金申請日から3年未満での転出は全額返還、3年以上5年以内の転出が半額返還と規定し、一定の縛りを設けて実施しております。		
32	茨城県まち・ひと・しごと創生推進計画	評価できる点	未公表・集計中の指数があるため、判断が難しい	仁衡委員	
		改善すべき点	雇用創出数は、地方創生の考え方からは、正規雇用のみ記載すべきではないでしょうか？少なくともそれが分かるように記載してくださると良いと思えます。	清山委員	本指標は①企業誘致による雇用者増加数②起業による雇用増加数③新規就農者④本社機能の移転による雇用増加数⑤就業看護職員数の合計により算出しています。 ①、②については、目標設定の段階で正規雇用に限定した目標値としていないため、実績においても正規雇用のみ数値を集計していません。しかしながら、本県で安心して働き続けることができるしごと・雇用機会の創出という地方創生の観点からいえば、委員ご指摘のとおり正規雇用者数の把握に努める必要があると考えます。 なお、令和4年度以降、総合計画においては当該指標は用いず、しごと創出については「本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数」「県の支援により進出した外資系企業数」等により指標を設定し、実績を測ることとしています。

No	事業名	項目	内容	委員	回答
32	茨城県まち・ひと・しごと創生推進計画	その他ご意見・ご質問	災害ボランティア活動支援事業は、平時のうちに危機に備える良い施策だと思えます。 企業等による災害時のボランティア協力体制は構築されていますか？	清山委員	茨城県社会福祉協議会を事務局とし、茨城県経営者協会を含む県内22団体で構成される「茨城県防災ボランティアネットワーク」により、平常時から顔の見える関係づくりを構築し、連携した被災地支援活動を行っております。 また、茨城県社会福祉協議会において、いばらきコープとの「資機材運搬協定」、茨城県自動車販売協会との「災害時車両等の提供に関する協定」が締結されており、災害ボランティアセンターへの資機材の運搬や必要となる各種車両の調達について協力体制が構築されております。
			災害ボランティア活動支援事業は大変意義深いと思う。実効的な支援となるように支援内容の充実・確認に務めて頂きたい。	仁衡委員	今後も、災害ボランティアの活動を円滑かつ効果的に被災者支援につなげるため、活動環境の整備を図ってまいります。